

さようなら

karinomaki

この世界の恋の意味

恋とは、熱く燃えるようなものです。しかし、熱ければ熱いほど、冷めてしまうと言えます。それは、その恋で、学ぶべきことが終わったときです。そして、愛は情に変わります。

「この結婚は失敗だった」

私がよく知っている人で、「この結婚は失敗だった」と言っている人がいました。それは、大きな間違いです。結婚するほど好きになった人を、よくもそこまで侮辱できたものです。それなら別ればいいのに、その人はたいへん弱い人で、世間体と、お金を大事にするあまり、離婚はしません。そのかわりに、旦那さんと心が通じ合った私を、故郷にいられないように追い込みました。

しかし、私は新天地で、新しく好きな人を見つけました。ただ、その人も結婚している人でした。

結婚している人

結婚している人を好きになることは、とても苦しいことです。この世に結婚制度がある以上、いつかはその気持ちを封印するべきであるというのが、私が最近出した答えでした。

何故なら、私は二度の恋心で、大きく成長し、心が完全に切れる本気の恋愛はないと知ったからです。しかし、熱い気持ちがずっと続くのではなく、相手への感謝がずっと残るのです。

私は、二つの恋愛を経験したあと、二人には、感謝しかありません。苦しい気持ちは、私を大きく成長させてくれました。

相手を深く憎んだこともある、やめようと思ったこともある、でも、その気持ちは、完全に切れることなく、死後会えたらまた再燃すると思え、私の二つの恋は終わりを告げました。

不幸

さて、この世でいちばんかわいそうな人は、一人で生きている人ではありません。私を故郷にいられなくしたひどい奥さんなのです。私を憎み、旦那さんをばかにしながらしがみつき、その旦那さんは毎日どんな気持ちで家に帰っているのかと思います。

私は、こっそり旦那さんにメールを送っていました。ただただ心が痛む行為でした。返事はありませんでしたが、心とは不思議なもので、旦那さんは私のメールをただ心痛んで、でも、支えにして読んでこれているのがわかったのです。それは、時空を越えた愛でした。しかし、私はある機会に、一切メールを送らないことにしました。

この世での恋は終わった。でも、一度真剣に愛し合った人とは、死後の世界で必ず会えるとわかったからです。

精神科医の先生

奥さんに心をボロボロにされ、持病の精神病が悪化した私を助けてくれたのは、精神科医の先生でした。私は、その先生にも猛烈に恋をしました。

しかし、三度目の先生に診てもらった入院のあと、私はやっとわかりました。

人間はこの世では一人なのだ。

本当に愛しあっても、その甘々の愛を一生続けていれば、人間はだめになっていくのです。だから、いつか人は気がつかなければなりません。この世界の厳しさを。

結婚していながらも、心が完全に自立している先生に、私は大きく教えられ、私は退院と同時に、先生に心でさようならと言いました。

一生診て下さい

一生診て下さいと言った私に、「さあそれはわからないよ」と言ったなつかしい先生、大好きでした。最初に恋をした、醜い奥さんを持つ旦那さんも、私の心を黙って受け止め続けてくれた。最後に、私は旦那さんに、メールを着信拒否してほしい、どうしても依存してしまうから、と言ったのに、旦那さんは決してそれをしなかった。返って来なかった、最後のメールに、私は涙しました。

「私の完全な負けだ」と思いました。

「マキさん、僕と一生勝負しましょうね」と言ってくれた、私のものではない旦那さん、「いつかあなたをズタズタに傷つけるでしょう。」と言った私に、「受けてたちますよ」と言ってくれた。そして、最後の言葉、「愛してますよ、マキさん、必ず結ばれようね」という、初めての本気の愛の言葉・・・

ねえあなた、今この文章を読んでいますか？ずいぶんあなたを傷つける文章を書きましたが、あなたの勝ちで恋は終わりました。

そして、私を助けてくれたなつかしい先生、診察は二週間に一回でいい？と言われたのに、先生にすがりたくて、私はいやです！！とだだをこねた。

先生、大好き・・・退院前の最後の診察で、私は伝えました。

先生、ありがとう。先生から卒業して、自立するから、死んだら抱いてくださいね。好きな人が何人かいるけれども、ある時診察で、「死後の世界だったら、先生好きでも許されるでしょう？」と言った私でした。